

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

【取組内容①】 授業実践に向けての研修体制 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざして～

①年度当初の研修で、
異動してきた先生とも共通理解

4月1日 職員会

- ・OSの特徴やクラウドについて
- ・実践事例

4月2日 校内研修

- ・端末の特徴について

4月2日 上板町教育委員会主催の研修

- ・標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアについて

学習支援ソフトの研修の
様子

②授業実践力を高める

ICT支援員による校内研修

- ・ICT支援員による学習支援ソフトの活用方法

上板町教育委員会主催の研修

- ・汎用的なソフトウェアの活用方法
- ・デジタルホワイトボードソフトの活用方法
- ・授業構想について

年間を通しての研修と授業実践による、継続的な授業実践力の向上

④実践事例の共有

外部への発信

- ・学校ホームページへの掲載

校内での共有

- ・各教科ごとでの取り組みを、クラウド上の表計算ソフトで共有

③授業実践

校内研修

- ①研修週間を設定する。
- ②授業内容をクラウド上の表計算ソフトで共有する。
日時や教科、内容、実践のポイントなど
- ③参観記録もクラウド上の表計算ソフトで共有する。
生徒が主体的に学んでいたと感じた場面、自分の授業で取り入れたいと思った点など

授業内容を共有する表計算ソフト

A	B	C	D	E	F	G	H	I
番号	氏名	日	曜日	時間	クラス	教科	内容	
●●	●●	7/12	金	2	33	数学	二次方程式の利用 動く点の問題	GIGA・ICTの活用方法 学習支援アプリで解き方を班で共有する。フオームで振り返りを行う。

授業内容を共有する表計算ソフト

A	B	C	D	E	F	G	H	I
番号	氏名	日	曜日	時間	クラス	教科	指導者	感想（生徒が自主的に学んでいたと感じた場面、自分の授業でマネしたいと思った点など）
●●	●●	7/11	木	5	33	国語	●●先生	俳句の創作や鑑賞に学習支援アプリを活用し、創作した俳句とその俳句にあったイラストや写真を添付させていた。生徒が興味を持ち、主体的に創作や鑑賞をしていた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

【取組内容①】 授業公開の方法の工夫 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざして～

①指導案（細案）の工夫

- ・「教科における意図」と「DXにおける意図」の明確化
- ・学校ホームページ上での共有
- ・授業研究会での活用

「教科における意図」と「DXにおける意図」を明確にすることで、授業者も参観者も視点が定まる。

付箋に色分けして、「良かったところ」「改善点」「疑問」を入力し、それを細案に貼っていくことで、意見を共有する。

細案				良かったところ	改善点	疑問
時間	場面	学習活動、指導上の留意点など	教科における意図	DXにおける意図		
1分	導入	動画①（汽車が進み始めた様子）を観る。 最初は進む速さが遅いので、観るのと聴くのではなかと、日常生活で感じたことを共有する。 めあて「汽車と競走しよう！」を確認する。	数学における意図	DXにおける意図		
1分		で、安全上の注意点を確認する。 ・動画は、安全に配慮して録画している。 ・駅の構内で走らない。				
1分		動画②（子どもが汽車に追い抜かれる前）を観る。 この後に、どうなるかを予想させる。				
2分	導入 15分	動画③（子どもが汽車に追い抜かれる）を観る。 なぜ、追い抜かれるのかを問い、追い抜かれるということは、汽車が加速し、子どもが等速であることを確認する。 で、図を提示し、実際に競走するためには、 ・線路と平行に走ることが出来る安全な図があること ・子どもが一定の速さで走ること ・何秒も実験できることが必要であり、事象を数値化して競走することを確認する。 で、関数 $y=ax^2$ のグラフと比例のグラフを提示し、その様子を表しているのは、どちらのグラフが簡単で考え、理由も説明する。 汽車が駅を出発して x 秒間に進む速さを y m/s としていることや、加速し続けていることも確認する。	関数 $y=ax^2$ を用いて加速して移動する汽車を、比例や一次関数を用いて等速であると仮定した子どもを比べる。 数値化するために必要なことを考えさせる。 (事例→数学) 変化の割合が増加していることと、加速していることを結びつけて考えさせる。 (事例→数学)			

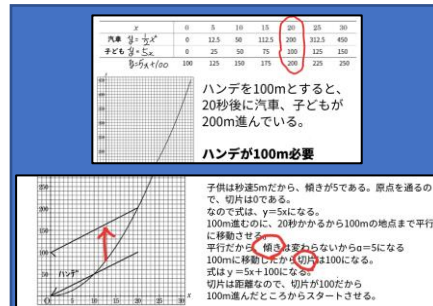
デジタルホワイトボード上の細案

②授業研究会の工夫

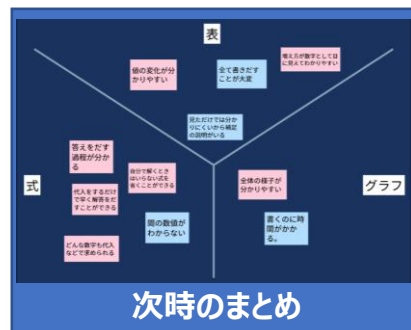
- ・他学級での次時の授業の動画や、生徒の考え、振り返りの提示
- ・デジタルホワイトボード上の細案へのコメントの入力



動画を流し、次時の授業を説明



次時の生徒の考え



次時のまとめ

1時間の授業公開に加えて、ICTを活用し、次時の動画やシートなどを共有し、説明した。次時へのつながりや、生徒の考え、まとめ、感想などを提示することができ、授業研究会で、さらに議論を深めることができた。

・表だけで考えるのには限界があることに気づいた。式があったほうがわかりやすかったし、グラフがあったほうが変化の様子がわかりやすい。式やグラフだけでも同じことが言えると思う。3つの方法を駆使して解くと簡単で面白くなると思う。

・一つの問題から色々な考え方で答えを出することができる数学は、他の教科ではないのでもっとも面白いと思った。自分ひとりだけであっても今回クラス全員で考えたようなものが考えられるように数学の可能性を楽しんで、これからも勉強していきたい。

次時の生徒の振り返り

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

【取組内容②】 情報活用能力の育成「発信」～総合的な学習の時間での取り組みを通して～

①実際の活動

1年生

- ・福祉体験学習
- ・防災学習

2年生

- ・職場体験学習
- ・平和学習

3年生

- ・進路決定に向けての学習

②情報を整理、発信の準備

端末で、スライドや文書作成ソフトで情報を整理

- <仕事の内容>
- ・すくもづくり
 - ・町おこし
 - ・サトウキビを作る
 - ・藍づくり
 - ・掃除



- <体験内容>
- ・藍染
 - ・パン作り
 - ・お菓子を詰める作業
 - ・さとうきびを搾る作業
 - ・すくもづくり



出荷場の従業員の方は柿の分別を素早くシベルトコンベアに置いて、効率よく作業をしていた。
お店に柿を集荷できるように、的確に柿を箱詰めをしていた。



さとうきび

さとうきびを砂糖にする体験をしました
はじめは砂糖になるのか分からなくて
ドキドキ・ワクワクしてましたが実際にみると
大変できつい仕事だと実感しました



できた砂糖を飲んでみるとちよつと甘すぎて
苦手な味でしたがこれが砂糖になるのかと思い
すごいなと改めて実感しました。

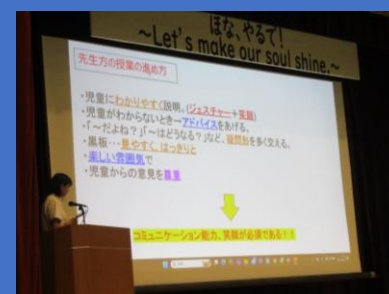
給食センターへの質問

- Qこの職業を選んだ理由
A食べることや作ることを好み、食や栄養について興味があったから。
- Q働いていて良かったと感じること
A給食を食べている子がおいしかったと感想を言ってくれること
- Q働いていて大変だと思うこと
A機械の故障などがあっても学校の給食時間に間に合わせるように作らなければならないこと

職場体験学習 まとめのスライド

③発信

教室背面への掲示
文化祭での発表



職場体験学習について 文化祭での発表

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

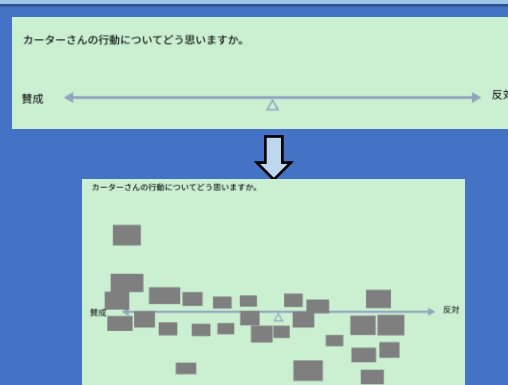
【取組内容②】 情報活用能力の育成「整理・比較」～シンキングツールやクラウド環境の活用～

シンキングツールの活用
(教科のねらいに向けて)

中学校 数学科でのYチャートの活用

表、式、グラフのメリット、デメリットを考えるために、それに向けたYチャートを学習支援ソフトの共有シートで提示した。

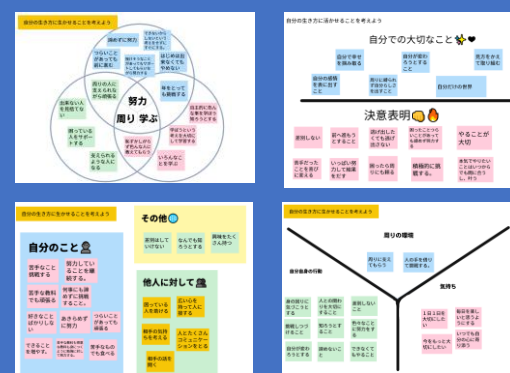
同じYチャートを共有したことで、班での議論を学級全体に広げるときにも円滑に行うことができた。

クラウド環境の活用
(学習支援ソフトで、意見の共有)

中学校 道徳科での共有シートの活用

道徳の教材に出てくる登場人物の行動に対して、賛成か反対か、どの辺りの考えなのかをシートに名前を入力して、貼り付けた。

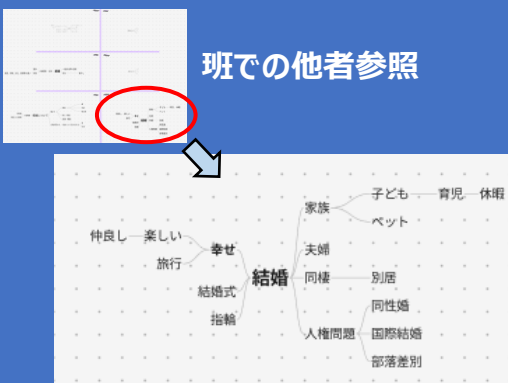
同時に編集し、それぞれの考えや、学級全体の生徒の考えの様子を把握することができた。

シンキングツールの活用
(生徒の自由な発想を引き出す)

中学校 人権学習での思考ツールの活用

人権学習を通して、自分の生き方に生かせることを考え、班で学習支援ソフトの共有シートで共有した。

Yチャートやベン図などのシンキングツールを生徒が選択し、班で意見を共有することができた。小学校からの活用により、自然と自分たちでシンキングツールを活用することができた。

クラウド環境の活用
(デジタルホワイトボードソフトで、思考の広がりを実感)

中学校 人権学習でのマッピングの活用

結婚に関する差別について考える際に、漠然としたイメージだったものが、班での他者参照やインターネット検索、教員の助言などにより、マッピングが大きく広がった。

教員も、生徒自身も、考えの変容や広がりを認識することができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立上板中学校（徳島県）【指定校】

【取組内容④】 校務DX ～進捗状況を表計算ソフトで共有し、追加、バージョンアップ～

表計算ソフトに校務DXの取り組みをまとめる
(進捗状況や担当者などを共有)

校務DX		担当者	進捗状況
	・ 日報	●●	実施
	・ 行事予定	●●	実施
	・ 部屋の予約	●●	実施
	・ 学校経営概要のPDF化	●●	実施
	・ Formsで行事の振り返り	●●	実施
	・ デジタルホワイトボードソフトでの授業研究会	●●	実施
	・ デジタル採点	●●	実施
	・ チャットでの情報共有	●●	実施
	・ 欠席者の連絡の共有	●●	実施に向け、作業中
	・ 安全点検	●●	検討中？
	・ 補教	●●	保留
	・ 運動会の係の共同編集	●●	検討中？
	・ 出欠黒板	●●	保留
	・ 学習指導案の共有（研究授業以外）	●●	計画中
	・ 職員会資料（  アプリのリンクを共有して、同時編集）	●●	保留
	・ 職員会資料（PDFで、クラウド共有）	●●	実施
	・ 飲酒点検	●●	保留
	・ 生徒用の日報	●●	現在は保留
	・ A I の活用	●●	個々で実施
	・ 町内小中学校入権学習資料・指導案等の共有化	●●	検討中？

校務DXの取り組みをまとめた表計算ソフト

上板町情報担当者会での情報共有

（上板町内の1中学校4小学校の情報担当者と
管理職、ICT支援員、上板町教育委員会担当者
での会議）



上板町情報担当者会の様子

対面で実施し、
クラウド環境
で情報を共有
する。

町内で共通し
て取り組む内
容の共通理解
や、参考にな
る事例の共有
を行う。

進捗状況などを
可視化し、現状
に合わせた校務
DX化を図る。

年度当初の
職員会での
共有

職員会での
検討、決定

校務DX

学校DX戦略
アドバイザー
からの助言

リーディングDX
事業からの
情報収集
・ 研修
・ サイト

